

2022年度

ニュージーランド留学報告書

実習先：ワイカト大学

実習期間：9月18日 ～ 1月21日

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21020063
氏名：高原大輔

目次

1. 留学先及び留学期間	3
2. 留学先概要	3
3. 留学目的	3
4. 留学内容	3
4-1. 留学のスケジュール	4.5
4-2. 留学の詳細	5
5. 当初目的・目標への達成度	6
6. 反省点・課題	6
7. 謝辞	6

付録

留学日誌と文化について	6.7
-------------	-----

1. 留学先及び実習期間

留学先：ニュージーランド国立ワイカト大学

実習期間：令和4年9月17日(土)～5年1月21日(土)

2. 留学先概要

(1) 大学について

ニュージーランド国立ワイカト大学 (The University of Waikato) は1964年に設立され、ニュージーランドの第4の都市ハミルトンに位置する国立総合大学である。学生の総数は約12,000人であり、そのうち2,000人は留学生である。古くから暮らすマオリ「ワイカト・タイヌイ族」との結びつきのある土地であり、キャンパス内にマオリの神聖な集会所「マラエ」がある。

(2) 大学で行われている教育について

ワイカト大学にはWPC (Waikato Pathways College) と呼ばれる建物があり、ここでは留学生に向けた英語プログラムが行われている。初日もしくは事前に実施されるプレイスメント・テスト、またはIELTSのスコアによって8つのクラスに分けられる。一般英語のクラスでは4技能をバランスよく学ぶことができ、アカデミック英語のクラスでは4技能の土台を築くことに焦点を当てており、全体的な英語力の底上げを目指せる。

3. 留学目的

今回の留学の目的は英語力の向上と異文化の体験である。英語力に関しては特にspeakingとlisteningの向上を目標にしていた。大学の授業では特にspeakingの技能を伸ばしづらい。そこで英語しか通じない環境に身を置くことで技能を伸ばせると考えた。またホストファミリーや他のネイティブとの会話を通じて次第に発音の矯正もできた。加えて異文化の体験であるが、個人的に今回の留学が初めての海外経験であった。そのため生活のどこを切り取ってもすべてが新鮮であり初めての経験であった。そのような日本では経験できない文化等を体験することも今回の留学の目的であった。

4. 留学内容

以下から留学内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1. 留学スケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
9	18	到着、ホストファミリーと対面
	19	オリエンテーション
	20	授業開始（一般英語クラス）
	23	キャンパスツアー
	30	ホビット村ツアー
10	25	オリエンテーション（アカデミック英語クラス）
	31	授業開始（アカデミック英語クラス）
11	28	テスト週間（～12月2日）
12	17	Christmas & New Year Holiday（～1月3日）
1	16	テスト週間（～1月20日）
	21	出国・帰国

時間割

午前の授業は前半後半に分かれており、10時30分から15分ほど休憩がある。

金曜の午後は level 3 と 4 のクラス合同で授業を行った。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限	9:00 ～ 10:30	GE (General English) AC (Academic English)	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC
2 限	10:45 ～ 12:00	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC
昼 休 み	12:00 ～ 13:00					
3 限	13:00 ～ 15:00	GE/AC	GE/AC	GE/AC	GE/AC	Seminar

4-2. 留学の詳細

<授業概要>

・ General English

一般英語プログラムのことで、主に、日常生活で使う英語の習得を目指し、4技能をバランスよく学習する。授業の内容は教師によって大きく異なる。

・ Academic English

英語圏の大学・大学院進学やその後のキャリアにも活かせるアカデミックな英語を学ぶことができ、クラスはレベルごとに8つに分かれている。主にパソコンで課題に取り組み、教師からのフィードバックによって復習ができる。

5. 当初目的・目標への達成度

この留学において英語力の向上・異文化理解することが目的であったがどちらも実感することができた。英語力に関しては特に発音が向上したと感じた。ネイティブの発音を真似る、留学先で出来た友達に矯正してもらうことで自身の発音は良いものになっていったと感じる。また、海外の文化を肌で感じ、異文化理解も深めることができた。

6. 反省点・課題

まだコロナが完全に収まっていないということもありまだすべての国にビザの発行が許可されていなかった。そのため、一緒に学んだ学生のほとんどが日本人であり、授業外では日本語で話してしまう機会が多かった。もちろん向こうの学生と話す機会は多くあったが、もっと話せばよかったと感じた。

7. 謝辞

今回お世話になったニュージーランド国立ワイカト大学の先生方、その他携わっていただいた新潟国際情報大学の先生方、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。また新潟国際情報大学からの奨学金により留学することができました。そして、両親や支えていただいた方々に心よりお礼申し上げます。この度は誠に有難う御座いました。

付録：留学日誌

土日は基本的に学校が休みだったのでいろんな観光地に出かけた。オークランド、ワイトモ、ロトルアなど様々な都市へ行き、アクティビティやショッピングを楽しんだ。初めての体験や異文化も感じられ、非常に有意義な時間であった。



